

極秘

軍自活主義具現、梗要

一 一般要綱

内地資源、節用及現地輸送、輕減ヲ圖リ以テ方面
軍、現地自活ヲ徹底スル目的ヲ以テ北支那ニ於テ生
産品及製造能力ヲ極度ニ利用シテ軍需ニ充當スルト共
ニ貨物廠自体ニ於テモ各種ノ生産及加工施設ヲナシ以
テ其徹底ヲ期シアリ 而シテ之ヲ利用及施設ハ極力第一

1866

線ニ近ク實施スル方針ナリ

二 實施要領項

(一) 現地物資ノ利用

現地ノ生産物資中最モ利用價値大ナル綿製品及

毛布類ハ内地ノ工業ヲ壓迫セサル限度ニ於テ極力利

用シ以テ軍需品ニ充當シアリ

糧秣諸品ハ北支那ニ於テ一般ニ不足シアルモ其中生

産量大ナル干草、食塩等ハ極力現地ニテ獲得シアリ

陣營具中木製品ハ成ルベク現地ニテ製作シ石炭、煉

瓦ハ北支那ニ於ケル生産量大ナルニ鑑ミ自給自足ハ

勿論其利用ノ積極化ヲ圖リアリ

蹄鐵類、蹄油等ハ極力現地ノ資源ヲ獲得シアリ

(二) 自隊ニ於ケル製造加工

現在自隊ニ於テ實施シアル主ナル製造加工作業左、

如シ

(1) 被服、洗濯及修理

(2) 米、搗精及パソ、味噌、醬油、豆腐、蒟蒻、油揚

漬物類、製造

(3) 給養器具、修理

(4) 製劑

(5) 支那馬蹄鉄、製造

1869

(三) 生産力ノ擴大

軍需品ノ生産ヲ助長シ尚之ヲ軍需品ニ適合スル爲

ナシアル事項次ノ如シ

(イ) 種子ノ配給

(ロ) 生牛豚鶏ノ飼育

一被服

其一 現地調査

名稱	單位	數量	摘要
洗濯石鹼	斤	二、三二七、〇〇〇	
特殊品	個	二六五、〇〇〇	主トシテ代用腹巻靴帽重布トス
消耗品	組	八、六六三、〇〇〇	主トシテ手袋靴下トス
寢具	〃	五七八、〇〇〇	主トシテ毛布敷布類トス
裝具	〃	六〇、〇〇〇	背負袋
患者被服	〃	二五七、〇〇〇	
着裝被服	個	五二六、〇〇〇	主トシテ夏冬襦袢袴下トス

本表ハ事変當初ヨリノ數量トス

其二 洗濯及修理

名	稱	区分	單位	數	量	摘	要
防寒被服		洗濯	個	四三〇、一三一		防寒帽外×種	
		修理	〃	一七六、〇二一		防寒襦袢外十種	
		洗濯	〃	四〇八、七二八		單衣袴外三種	
着裝被服							
		修理	〃	三四八、一四八		單衣袴外四種	
		洗濯	〃	二九、二五五		綿布圍	
寢具							
		修理	〃	六三、五九		毛布	

本表ハ天津ニテ市井工場ヲシテ製成セシメタルモノニシテ
 事實當初ヨリ數量ヲ以テ示ス

其三 自隊作業

名稱	能力	摘要
被服修理班	縫製工 天 ^二 日 三〇〇名	被服修理班一團、能力ニシテ、現在天 ^一 、石家莊ニ、大 ^一 、天 ^一 、濟南ニ、配屬シ、天 ^一 、分ハ、日 ^一 、班 ^一 、大 ^一 、百 ^一 、師團及、濟 ^一 、師團、配屬シ、
被服修理工場	縫 ^一 、靴 ^一 、白 ^一 軍衣 一、〇〇〇組 一、五〇〇個	目下計畫中ニシテ、器具到着ニ、近ク備付 ^一 、予定
被服洗濯工場	夏衣荷 三〇〇〇組	洗濯機五台 ^一 、有 ^一 、目下之 ^一 、倍數ニ、増設中 石 ^一 、外 ^一 、大同 ^一 、大 ^一 、石家莊 ^一 、施設 ^一 、計畫中 ^一 、ナリ

三糧秣
其下調辨

名稱	單位	數量	摘	要
主食	石	七三〇、〇〇〇	精米	
調味品	"	三〇八、〇〇〇	砂糖	食塩
甘味品	"	一六五、〇〇〇	漬物類	
煙草	本	四二、〇〇〇、〇〇〇		
干草	石	三三六、〇〇〇		
高粱		五、一九〇、〇〇〇		

本表ハ天津及其ノ附近ニテ
 當初ヨリノモノヲ示ス
 此ルモノニシテ
 數量ハ事變

其二 自隊作業

區分	能力(日量)	摘要
米ノ搗精	三〇、〇〇〇升	現在天津本部ニ於テ機械備付中ニテノ外ニ大同石家莊太原濟南徐州ニ夫々施設スリ計画中ナリ
パンノ製造	三〇、〇〇〇食	米ノ菓子類ヲ製造スルノ外ニ石家莊太原濟南ニ夫々施設スリ

其三 種子ノ配給

區分	数量	摘要
野菜種子	石 二二二	各軍ノ配給スル切リ準備中
燕麥種子	升 五〇、〇〇〇	

三、物品及建築材料

其一、調年

名稱	單位	數	量	摘	要
机類	個	一九三六九		一人用机外四種	
椅子類	〃	二七、一三四		六尺腰掛外四種	
煖炉	〃	三四、四八六			
石炭	噸	八二、〇〇〇		主トシテ大同炭	
薪	〃	五、〇〇〇		天津及唐山附近ニテ調年ス	
煉瓦	個	五六、〇〇〇、〇〇〇		河北、山東省ニテ調年ス	
本表ノ數量中煖炉ハ本年冬季ノ分ニシテ其他ハ 專表當初ヨリ、今トス					

1876

其二 自隊作業

給養器具修理	名 稱
水車 ^中 二台、 大修理ヲ有得	能 力
天津本隊ニボルト鑿一、 空気格接機一、 硫酸格接機ニ、 空気圧縮機一ヲ有シ 各支廠ニハ高單 ^ル 修理能 ^力 ヲ有セシムル如ク 計画中ナリ	摘 要

四、衛生材料

名	稱	單位	數	量	摘	要
製	劑	頁	一七八〇〇〇		健胃散、沃丁外、九種	

本表ノ數量ハ事實當初ヨリノ合トス

五、獸匠材料

其一、調年

名	稱	單位	數	量	摘	要
支那馬蹄鐵	裝	本	一三一〇〇		新鐵桿 一一〇〇〇 廢蹄鐵 三〇〇〇	
支那馬用釘	本		三、三三〇〇〇		尋釘 三、三三〇〇〇 水釘 三〇〇、〇〇〇	
蹄油	缶		一〇〇〇〇	二八五八	棉實油ヲ主トス	
消耗品	既		三、三〇〇		脫脂棉花	
假性石炭			一〇〇〇〇			

支那馬蹄鐵 移動器蹄		頭	一五五二七		
造鐵機械		個	九六六		
釘		本	一八四〇〇一八		
支那馬蹄鐵		個	二八四一八六	新鐵桿ヲリ	二四四二九二 廢蹄鐵ヲ三九八九四
名		稱	單位	數	量
					摘
					要
其ニ、自隊作業					
本表ノ數量(其一、其二共)ハ事實帝初ヨリノ存トス。					

1879

六 各支廠ニ於テ特ニ實施シアル事項

品	種	石家荘支廠	濟南支廠	大同支廠
味	噌	一ヶ月 二、〇〇〇樽		
醬	油	一、〇〇〇		
豆	腐	三、五、三、八、三、丁	一ヶ月 一、四〇〇斤	一ヶ月 二、九〇〇斤
菫	蕪	四、五、四、一、五、	三〇〇	設備中
油	揚	九〇、〇、八、三、枚	七、七〇	
パ	ン	三、〇、〇、〇、食	一、五〇〇食	一ヶ月 二、四〇〇〇食
菜	子	一、六、七、一、八〇、人分	一〇〇、〇〇〇個	
漬	物	五〇樽	六〇樽	
	酢	四、〇〇〇立		
ラ	ード	一、八〇〇缶		
味	付乾燥肉		一ヶ月 六、八、六、斤	

品 種	再 製 酒	毛 ヤ シ	饅 飴	ソ ー ス	生 牛	生 豚	鶏
石 家 荘 支 廠	一 ヶ 月 七 五 〇 〇 五	一 ヶ 月 二 〇 千			飼 育 頭 数 二 〇 頭	七 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 羽
濟 南 支 廠							
大 同 支 廠			一 ヶ 月 三 六 〇 〇 千				

1881